

第2回防府市教育振興基本計画策定委員会 【意見等への対応】

資料1

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）
1	教育総務課	4Pの(1) 我が国のということで、グローバルな捉え方となっている。県や市における捉え方をしたほうが良い。	F委員	文章追加	市における捉え方が不足していたため、文章を追加します。	4	本市の将来人口は、国立社会保障・人口問題研究所において国及び県の人口減少率よりは小さいものの令和42年(2060年)に約9万人に減少すると予測されています。年齢3区分別人口については、年少人口及び生産年齢人口は今後も減少する一方で、高齢人口は既に総人口の3割を超えており、今後も増加することが予想されます。	4	—
2	教育総務課	(2) 「その情報の意味を吟味したり、文章の構造や内容を的確にとらえ、読み解く力に課題があるとの指摘がある」という部分の意味が分かりづらい。	L委員	修正	文章の内容が伝わりやすくなるように修正します。	4	あらゆるものがインターネットに繋がりが、社会や経済、情報のグローバル化が進展し、多様な情報へ触れることが容易になる一方で、その情報の意味を吟味したり入ってきた情報が何を意味するのかということを考える力、文章の構造や内容を的確にとらえ、読み解くその文章を理解する力に課題があるとの指摘もあります。	4	あらゆるものがインターネットに繋がりが、社会や経済、情報のグローバル化が進展し、多様な情報へ触れることが容易になる一方で、その情報の意味を吟味したり、文章の構造や内容を的確にとらえ、読み解く力に課題があるとの指摘もあります。
3	教育総務課	(5) の説明文が切れている。	I委員	修正	—	12	キャリア教育の視点から自己を見つめ、自分や他者のよさに注目したり、将来について考えたりする活動の充実を図る必要があります。	12	キャリア教育の視点から自己を見つめ、自分や他者のよさに注目したり、将来について考えた
4	教育総務課	説明文3、4行目。このように言い切つて良いのか。平等に「機会を与えられない」ことが課題の現状である。	J委員	修正	趣旨が伝わるように、より具体的な記述に変更します。	14	大部分修正（計画案参照）	14	—
5	教育総務課	「やさしさ」は漢字表記ではないか。	I委員	修正	—	16	・強さと優しさを備え、	16	・強さとやさしさを備え、
6	学校教育課	キャリア教育について、「キャリア・パスポート」という語句の注釈が必要ではないか。	A委員	注釈追加	—	20	キャリア・パスポート：児童生徒が学んだことを振り返り、新たな学習や生活への意欲につなげたり、将来の生き方を考えたりする活動を行う際に、学びを記録し蓄積する教材。	20	—
7	学校教育課	SDGsが環境問題だけではないところに目標を設定していることを考えれば、注釈や説明があると良い。	A委員	注釈追加	—	24	SDGs：Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略。「地球上の誰一人として取り残さない」ことを理念とし、人類、地球およびそれらの繁栄のために設定された行動計画であり、2030年までに達成すべき17のゴールと169のターゲットで構成されている国際社会共通の目標。	23	—

追加

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）
8	学校教育課	英語教育の充実について、取組の方向性で「英語教育の充実、異文化体験の機会を充実し、グローバル人材の育成を行います。」とあるが、グローバル人材とは何か。	L委員	修正	御指摘のとおり、「グローバル人材」の定義がわかりにくいいため、修正します。	23	【取組の方向性】 ○ 英外国語教育の充実、 <u>や国際交流などの異文化体験の機会を充実し、「語学力・コミュニケーション能力」「主体性・積極性」「異文化に対する理解」を兼ね備えたグローバル人材の育成を行</u> い図ります。	23	【取組の方向性】 ○ 英語教育の充実、異文化体験の機会を充実し、グローバル人材の育成を行います。
9	学校教育課	国際交流という活動もあるので、そういったことも教育の取り組みの方向性に入れてはどうか。	L委員	修正	セルビアホストタウン事業等、機会を捉えて実施しています。				
10	学校教育課	主な取組の中の英語教育の充実について、ICTを活用した英語教育の取組を入れてはどうか。	L委員	文章追加	ご指摘のとおり、言語活動を授業の中心に据える外国語科の特質を鑑み、ICTの活用を推進することが大切であるため、文章を追加します。	23	【主な取組】 ◆ 英語教育の充実 市内全小・中学校にALTを派遣し、授業での稼働率を高めることで、言語や文化に対して体験的に理解することや積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと、外国語の音声や基本的な表現に触れ、活用する場面を設定します。 また、ICTを生かした学習機会の促進に努め、必要な語彙、表現等を調べる個別学習や、発表や話し合いなどの協働学習の場面を設定します。	23	【主な取組】 ◆ 英語教育の充実 市内全小・中学校にALTを派遣し、授業での稼働率を高めることで、言語や文化に対して体験的に理解することや積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養うこと、外国語の音声や基本的な表現に触れ、活用する場面を設定します。
11	学校教育課	ICT環境について、これからデジタルな時代を迎えるにあたって、子どもたちの創造性や応用力に期待している。問題を発見・解決したり自分の考えを形成する能力の育成だけでなく、創造力や応用力の育成について記載すべきではないか。	L委員	修正 項目追加	GIGAスクール構想の趣旨に沿って、創造力や応用力の育成も含んだ「変化の激しい社会に主体的に対応する人材」という文言に修正するとともに、取組の方向性に項目を追加します。	25	【現状と課題】（3段目） こうして育まれた情報活用能力を発揮させることで、 <u>各教科等における「主体的・対話的で深い学び」</u> 変化の激しい社会に主体的に対応する人材の育成へとつながっていくことが期待されることから、 【取組の方向性】 ○ 日常的にICT機器を活用した教育活動を行うことで、超スマート社会と言われるSociety5.0の時代を豊かに生き抜く力を育成します。 【主な取組】 ◆ <u>ICT活用教育推進員の配置のための多様な人材活用</u> <u>ICT機器を使用した授業における児童生徒への支援や授業者へのアドバイス、各校のICT環境のメンテナンス等を支援するための人材を雇用し、各校へ派遣します。</u> <u>ICT機器を使用した授業支援や学校のICT環境のメンテナンスを行うICT活用教育推進員を配置するとともに、ICT機器活用に関して高い技能を持った人材を地域や企業等から積極的に活用して、学校における指導の充実を図ります。</u>	25	【現状と課題】（3段目） こうして育まれた情報活用能力を発揮させることで、 <u>各教科等における「主体的・対話的で深い学び」</u> へとつながっていくことが期待されることから、 【主な取組】 ◆ <u>ICT活用教育推進員の配置</u> <u>ICT機器を使用した授業における児童生徒への支援や授業者へのアドバイス、各校のICT環境のメンテナンス等を支援するための人材を雇用し、各校へ派遣します。</u>

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）
12	学校教育課	不登校の方や特別支援の方にもICTを活用した学習の機会が与えられると良いと思うので、そういった記述も必要ではないか。	L委員	項目追加	これまで、特別支援学級の児童生徒については、通常学級とは別にICT機器の配備を行い、活用してきました。今後も、通常学級と同様に一人一台端末を配備します。不登校児童生徒についても一人一台端末を活用した教育支援が行われるように検討しています。	26	【主な取組】 ◆ 多様な学習活動の推進 学習者用コンテンツを活用して、個別最適化された学習を推進するとともに、教員が児童生徒一人ひとりの学習状況（理解度）を把握して、個別学習の充実と授業改善に役立ちます。 また、特別支援学級や、学習活動に特別に支援を要する子どもへの指導など、それぞれの子どものニーズに応じたコンテンツを活用して、ひとりも取り残さない教育を行います。 さらに、長期休業期間や臨時休業、事情により長期間欠席している児童生徒に対しても、授業支援アプリを活用するなどして、児童生徒の学びを止めないような学習支援の充実を図ります。	25	—
13	学校教育課	ICT環境の整備と学習活動の充実について、推進員の配置は、書いてあるが、教員に対する研修や教育はどうなっているのか。	H委員	項目追加	教員対象の研修会の開催は重要であることから取組項目を追加します。	26	【主な取組】 ◆ 教職員研修の実施 ICT機器の操作方法や授業におけるタブレット端末の有効な活用方法、厳密な情報管理の方法や情報モラル教育など、時代や教職員のニーズに応じた研修会を開催します。	25	—
14	学校教育課	デジタル社会の進展に伴い、そういったことを専門的に学ぶ場を青少年科学館に置くなど、特化した教育を受ける場が必要ではないか。	H委員	御意見として承ります。	児童生徒が専門的に学ぶ場については、様々な機関と連携して、方向性を検討していきます。	25	—	25	—
15	教育総務課	学校図書館の現状と課題の最後、「このオンラインネットワークシステムの」とするとわかりやすい。	I委員	修正	オンラインで使用しているシステムのため修正します。	27	このオンライン・ネットワーク・システムの効果的な運用による、学習活動の支援強化が必要となります。	27	ネットワークシステムの効果的な運用による、学習活動の支援強化が必要となります。
16	教育総務課	ページ最後の段落、「学校図書館オンラインネットワークシステム」とすると良い。	I委員	御意見として承ります。	「学校図書館管理システム」がシステムの名称なので、表現を統一します。	28	—	27	—
17	学校教育課	文化芸術に関する記述が少ない。既存の授業の中で、子どもたちに伝統や文化を教えて、感性の豊かな子どもを育てようとしているようだが、それでは不十分。体験型の教育ができないのか。	H委員	修正	例えば、小学校では、地域からのボランティアをお招きし「むかし遊び体験」等の活動を行っています。このような体験型の活動は既に各学校で行われています。	30	【主な取組】 ◆ 伝統や文化に関する教育の充実 国際社会において主体性をもち、積極的に役割を果たすため、授業等における古典や歴史、武道、伝統音楽、美術文化、衣食住に関する学習などにおいて、児童生徒が感動を覚える教材を活用し体験型の学習を推進し、伝統や文化に親しみ、文化・芸術の継承と創造への関心を高める教育を充実させます。	29	【主な取組】 ◆ 伝統や文化に関する教育の充実 国際社会において主体性をもち、積極的に役割を果たすため、授業等における古典や歴史、武道、伝統音楽、美術文化、衣食住に関する学習などにおいて、児童生徒が感動を覚える教材を活用し、伝統や文化に親しみ、文化・芸術の継承と創造への関心を高める教育を充実させます。

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）
18	学校教育課 生涯学習課	・関係機関に家庭教育アドバイザーの活用 (それには市内の山口県の養成講座修了者の把握をお願いしたい。)	K委員	御意見として承ります。	家庭教育アドバイザーについても専門家として、必要に応じて活用してまいります。 養成講座修了者については、把握しています。	31	—	31	—
19	学校教育課	この計画は、私学にも対応するものか、私学との連携はどうなっているのか。	K委員	—	私学から特別支援に関する相談がある場合には、山口・防府地区の特別支援教育センターである山口総合支援学校の要請により、地域コーディネーターが支援に当たります。	37	—	37	—
20	学校教育課	特別支援教育の充実について、障害をお持ちの家庭等への支援はしているが、子どもたちが特別な子どもだと思わなくて良いような教育は行われているのか。	K委員	文章追加 項目追加	多様性を認め、個々の人権を尊重する教育は行っており、特別支援学級の子どもたちに対する理解等についても発達段階に応じて進めています。特別支援教育についての理解を得るためにチラシを作成し、各家庭に配付しているため【取組の方向性】と【主な取組】に項目を追加します。	37 38	【現状と課題】4段目 こうしたことから、教職員の専門性の向上を図るとともに校内委員会の充実を図り、組織的な特別支援教育を推進することが課題となっています。そのため、特別支援教育の取組や支援体制等についての周知を図る必要があります。 【取組の方向性】 ○ 防府市の特別支援教育の取組等についての理解を得るために、適切な情報提供を行います。 【主な取組】 ◆特別支援教育に関する広報活動の充実 「防府市の特別支援教育」のチラシを作成し各家庭に配布するとともにHPにも掲載するなどして、特別支援教育への正しい理解を得るように努めます。 また、様々な障害の理解や子どもへの適切な対応等の講演会や研修会について、学校のみならず広く周知を図ります。	37	【現状と課題】4段目 こうしたことから、教職員の専門性の向上を図るとともに校内委員会の充実を図り、組織的な特別支援教育を推進することが課題となっています。
21	学校教育課	特別支援教育の充実について、取組の方向性の2項目「支援の充実を図ります」とある。障害を持ったお子さんが放課後通う施設も多くあると思うが、そういった方々との連携という意味であれば、もっと具体的に書くべき。	E委員	修正	幼稚園、保育園、通級指導教室、療育施設、健康増進課、医療機関等、多岐にわたる関係機関との連携で支援の充実を図っています。関係機関の具体が分かるよう追記します。	38	【取組の方向性】 ○ 特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒及びその保護者に対して、関係機関福祉・教育・医療等との連携による支援の充実を図ります。	37	【取組の方向性】 ○ 特別な教育的支援を必要とする幼児児童生徒及びその保護者に対して、関係機関との連携による支援の充実を図ります。
22	学校教育課	・校内教育支援体制の充実には支援を必要とする保護者との信頼関係を構築するのに、経験者の保護者との情報交換の場をお願いしたい。	K委員	—	個人の特性はそれぞれ異なり、環境や支援の方法についてもケースバイケースであることから、特定の保護者同士をつなげる役割を果たすことは難しい。多くの事例を集約し、個別に適切な助言を行います。	38	—	38	—

追加

追加

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）
23	学校教育課	幼児教育の充実について、「園児が安全・安心に活動できる環境確保や管理運営に向けた補助事業等について、積極的な情報提供に努めます。」とあるが、施策として一歩踏み込んだ「補助事業に取り組みます」と記述するべきではないか。	F委員	修正	趣旨がより伝わりやすくなるように修正します。	40	【主な取組】 ◆乳幼児機関への支援の充実 園児が安全・安心に活動できる環境確保や管理運営に向けた補助事業等について、積極的に情報を提供し、防府市幼稚園連盟や防府市保育協会と連携しながら、幼児教育の振興・充実に取り組んでいきます。	40	【主な取組】 ◆乳幼児機関への支援の充実 防府市幼稚園連盟や防府市保育協会と連携しながら、幼児教育の振興・充実を図ります。また、園児が安全・安心に活動できる環境確保や管理運営に向けた補助事業等について、積極的な情報提供に努めます。
24	生涯学習課	地域とともにある学校づくりの推進の中に、子どもの安全管理、子どもの主体性、学校や公民館との連携など、人づくり、地域づくりの好循環を続けていくために、ぜひ必要な放課後子ども教室ではないかと思うので、「放課後子ども教室の充実」という形で掲載して欲しい。	G委員	修正	【主な取組】 ◆地域協育ネットの推進 の項目の中に放課後子ども教室について記載しているため、修正します。	42	【主な取組】 ◆地域協育ネットの推進 各中学校区における、学校・家庭・地域が協働する、いわゆる地域協育ネットを推進するとともに、ほうふ幸せます人材バンク※との一体的な運用により、学習支援・環境整備・見守り活動などの学校等を拠点とした教育支援事業や、小学校区における、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに成長できる環境づくりを図るための放課後子ども教室推進事業等を充実させます。	42	【主な取組】 ◆地域協育ネットの推進 各中学校区における、学校・家庭・地域が協働する、いわゆる地域協育ネットを推進するとともに、ほうふ幸せます人材バンク※との一体的な運用により、学習支援・環境整備・見守り活動などの学校等を拠点とした教育支援事業や、小学校区における、子どもたちが地域社会の中で心豊かで健やかに成長できる環境づくりを図るための放課後子ども教室推進事業等を推進します。
25	学校教育課	地域ぐるみの教育の推進について、今以上に地域を巻き込んで、子どもたちが愛着を持つようにするための取組を計画に入れると良い。	D委員	項目追加	ご指摘のとおり、今以上に地域を巻き込むことが大切であることから、主な取組に項目を追加します。	42	【主な取組】 ◆広報活動の充実 保護者や地域住民のコミュニティ・スクールに対する認知度を上げることを目指します。 コミュニティ・スクールの取組を紹介するプレゼンテーションを全小中学校で作成しています。就学時健診、仮入学、入学式、PTA総会等でプレゼンテーションを活用し、これまで以上に認知度を高めます。 また、「※ふるさとを愛する心の育成&ふるさとを担う人材育成カリキュラム」、「※防府市学校・地域連携カリキュラム」を活用し、小中交流や、地域の方との交流の機会をさらに増やしていきます。 【注釈】 ※ふるさとを愛する心の育成&ふるさとを担う人材育成カリキュラム：特色ある地域学校協働活動を「学校運営」、「地域貢献」、「学校支援」、「幼保小中連携」の視点から分類し、地域協育ネットごとに一覧にしたもの。（平成30年度作成） ※防府市学校・地域連携カリキュラム：市内の小・中学校の学年ごとの地域連携教育に関する取組を、月別一覧にしたもの。（令和元年度作成）	41	—

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）
26	学校教育課	コミュニティスクールについて、中学校が中心となっているが、中学校をベースに考えてしまうと、ばらばらになる子どもたちが発生してしまう現状がある。基準が小学校であれば、中学生は自分が通っていた小学校に戻って活動することができる。コミュニティスクールがスムーズに進んでいるか検証が必要ではないか。	E委員	御意見として承ります。	ご指摘のとおり、検証は必要であり、各学校において学校評価を行っています。ご提案の中学生が小学校において活動する取組は各校で実施されています。また、コミスクは学校単位ですが、中学校区での地域協育ネットを活かした取組については、小・中が対等な立場で運営に参画しています。	41 42 58	—	41 42 57	—
27	生涯学習課	・地域協育ネットの推進に地域協育ネットコーディネーターの活用（それには市内の山口県の養成講座修了者の把握をお願いしたい。） ほうふ幸せます人材バンクと共に防府市市民活動支援センターの登録団体等の連携も必要とされるのでは、昨今では放課後子ども教室や学年活動で、地域、PTAの方からの問合せも増えております。	K委員	御意見として承ります。	地域協育ネットコーディネーターについては、地域協育ネットを推進していく中で、必要に応じて活用していきます。養成講座修了者については、把握しています。	42	—	42	—
28	生涯学習課	学校で今後ICT環境が整備されることでパソコンを使用することも増えます。 また、子ども達の携帯所持が多くなっておりSNS等の危険性を把握してもらい、安全性や正確な利用方法を学んでもらう機会を増やしていただきたい。	K委員	御意見として承ります。	青少年の健全育成を促進していく中で、必要に応じて情報モラル教育を取り入れていきます。	43	—	43	—
29	生涯学習課	ほうふ幸せます人材バンクの充実には、現在「ボランティア・協働情報誌～まなびとボランティアをサポートする～まなぼら」にて生涯学習課・防府市社会福祉協議会・防府市市民活動支援センターとの3機関協働の情報誌があるように、それぞれの機関でのボランティアの活用と連携が必要と感じます。 ※ボランティア登録の市内で1本化も良いのかもしれませんが。	K委員	修正	「ほうふ幸せます人材バンク」を充実させるには、各種ボランティア団体との連携も必要のため修正します。	47	【主な取組】 ◆ ほうふ幸せます人材バンクの充実 専門的な知識や技能のある個人・団体等をボランティアとして登録した「指導者バンク」と学校や公民館が保有する学校支援ボランティアを登録した「支援者バンク」を一元管理する「ほうふ幸せます人材バンク」を充実させるため、各種ボランティア団体との連携に努め、学校の授業や地域の講座等での積極的な活動と横断的な運用を行います。また、「指導者バンク」による公開講座の開催により、市民への周知と積極的な活用を図ります。	47	【主な取組】 ◆ ほうふ幸せます人材バンクの充実 専門的な知識や技能のある個人・団体等をボランティアとして登録した「指導者バンク」と学校や公民館が保有する学校支援ボランティアを登録した「支援者バンク」を一元管理する「ほうふ幸せます人材バンク」を充実させ、学校の授業や地域の講座等での積極的な活動と横断的な運用を行います。また、「指導者バンク」による公開講座の開催により、市民への周知と積極的な活用を図ります。

追加

追加

追加

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）
30	生涯学習課	公民館のあり方で今後、公民館が老朽化し建て替えなどが検討される際には小・中学校の敷地内に公民館が併用されるのもありなのではと思います。私、仕事で福岡県糸島市立東風小学校に昨年伺う機会がありました。コミュニティセンターと高齢者のいこいの家が小学校に併設されておりました。校区内の行事や活動が見え化して地域の方々との交流も盛んに行っておられ、地域の方は「子ども達の声や姿が見れて元気がもらえる」と言われ、子ども達が地域で見守られてるのを感じました。	K委員	御意見として承ります。	公民館建替えの際に、地域からの要望等があれば検討しますが、小・中学校の敷地内に公民館を併設することは、現在のところ考えていません。	50	—	50	—
31	教育総務課	取組の方向性の4つ目、最初に「学校図書館をはじめ」と入れると良い。	I委員	修正	学校図書館を含めて相互協力・連携を推進するため修正します。	51	【取組の方向性】 ○ <u>学校図書館</u> をはじめ他の図書館や教育文化施設・機関等との相互協力・連携を推進します。	51	【取組の方向性】 ○ 他 <u>の</u> 図書館や教育文化施設・機関等との相互協力・連携を推進します。
32	教育総務課	図書館の充実と読書活動の推進について、最初に防府図書館の成り立ちについて記載することはできないか。	G委員	御意見として承ります。	個別の施設の成り立ちについて計画に掲載はしませんが、図書館年報に毎年掲載するなど様々な機会を通じて啓発していきます。	51	—	51	—
33	教育総務課	主な取組の4つ目、「他の図書館や施設・機関等」の前に「学校図書館」を加えると良い。	I委員	修正	学校図書館を含めて相互協力・連携を推進するため修正します。	52	【主な取組】 ◆様々な教育文化施設との連携の推進 <u>利用者に</u> 資料や情報を的確に提供するため、 <u>他学校図書館ほか</u> の図書館や施設・機関等との相互協力の推進を図ります。	52	【主な取組】 ◆様々な教育文化施設との連携の推進 <u>利用者に</u> 資料や情報を的確に提供するため、 <u>他の</u> 図書館や施設・機関等との相互協力の推進を図ります。
34	教育総務課 学校教育課	施設の老朽化について、佐波中学校の体育館は老朽化がかなり進んでいるのでしっかりチェックしていただきたい。学校教材についても各学校で大きな差が生じないように現状のチェックをして欲しい。	E委員	御意見として承ります。	学校施設の老朽化対策については、計画的に取り組めます。学校教材については、学校の希望を聴きながら、充実を図ります。	54	—	53	—
35	学校教育課	中学校を卒業してからの公立・私立の高校への進学後、中退や進学しなかった子どもたちの学びの再度機会を与えられる支援や相談先があればと考えます。	K委員	御意見として承ります。	中学校卒業後のサポートについては、可能な限り出身校の教員が関わっています。ほうふ若者サポートステーションやヤングテレホン（生涯学習課）の紹介により、関係機関への接続を行いたいと考えています。	60	—	59	—

追加

追加

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）	
36	学校教育課	地理的条件の解消について、小野小はスクールバスがあるが、牟礼南小学校の末田地区の子どもたちは、定期バスを利用して通学している。登校時は良いが、下校時の不便な状況についてもチェックして欲しい。	E委員	御意見として承ります。	定期バスを利用する児童生徒がいる学校では、定期バスの時間に合わせて時程を工夫するなどの対応をしています。	61	—	60	—	
37	学校教育課	部活動のことが記載してあるが、学校の規模、人数によって活動できない種目があるため、小規模校については他の学校と合同で活動できる体制をとって欲しい。	E委員	御意見として承ります。	運動部については、「合同チーム規定」により、合同での活動や大会への参加が可能です。	62	—	61	—	
38	学校教育課	何が問題で何を改革しなければいけないのか、明確でない。 学校運営上必要なことが、教員の自主的な活動とされ、無限定な超過勤務となっている現状を先ず指摘すべきではないか。	J委員	修正 追記	課題や対応について具体的に記述します。	62	【現状と課題】 三段落目 課題としては、学校行事や各種会議の更なる見直しや、 <u>効率化を図る取組の実施</u> 放課後の業務内容の精選があげられます。 【主な取組】 ◆勤務体制の改善 に追記 電話自動音声応答システムの導入等、放課後の時間外勤務の軽減に努めます。	61	【現状と課題】 三段落目 課題としては、学校行事や各種会議の更なる見直し、 <u>効率化を図る取組の実施</u> があげられます。	追加
39	学校教育課	文化と伝統について、裸坊まつりが、中学校の期末テストと時期が重なる傾向にある。教育振興基本計画に文化・伝統について記載するのであれば、期末テストの開催時期を検討していただきたい。	E委員	御意見として承ります。	秋は、テスト範囲や成績処理の関係、各地域行事等が秋に企画されていることから、この時期としている学校が多い状況です。教育課程については、各学校がPTA等と協議、検討した上で、編成してまいります。	65	—	65	—	
40	文化財課	P67取組の方向性に「○未指定文化財の調査記録を推進します。」を追加して欲しい。	H委員	P65取組の方向性1項目目に「記録し」を追記	P65取組の方向性1項目目に調査が含まれているので、ここに追加します。また、「文化財」には未指定文化財も含まれるため、そのままとします。	65	P65【取組の方向性】 文化財の所在場所や性質を明らかにする把握調査を行って記録し、文化財情報の取得量の充実を図ります。	65	P65【取組の方向性】 文化財の所在場所や性質を明らかにする把握調査を行って、文化財情報の取得量の充実を図ります。	追加
41	文化財課	主な取組2項目目、末尾に「文化財郷土資料館の定期的研究・報告書の作成」を加えて欲しい。	H委員	文章追加	今後とも調査・研究等の成果については、情報発信に努めます。	67	【主な取組】 ◆文化財関係施設の整備と活用 文化財郷土資料館を拠点として、調査・研究の成果等の情報発信を行います。	67	—	追加
42	文化財課	主な取組4項目目、末尾に「地域振興のための市役所内他組織との連携事業を推進します。」を加えて欲しい。	H委員	修正	ご指摘のとおり、地域の歴史・文化の伝承・継承には、市役所内、各関係機関との連携が必用なため修正とします。	67	【主な取組】 ◆地域等の歴史文化継承への支援 地域ならではの伝承や伝統技術を継承する活動に、 <u>市の関係部署をはじめ、各種団体や関係機関との連携を図りながら支援</u> を行います。	67	【主な取組】 ◆地域等の歴史文化継承への支援 地域ならではの伝承や伝統技術を継承する活動に支援を行います。	追加

No	担当課	意見	意見者	意見の対応	理由・回答	ページ	新（修正後）	ページ	旧（修正前）
43	学校教育課	防府市では家庭教育支援チームの活動が2019年に始まりました。これについては、教育委員会教育部生涯学習課のご支援があり、私も関わらせて頂いておりますが、今後は教員OBの方々、スクールソーシャルワーカー、民生委員、民生児童委員、子育て経験者などの参画を得て、地域での子育てや家庭教育支援をチームスタッフが、家庭を個別訪問して相談対応し情報提供を行ったりする、訪問型家庭教育支援をすることで防府市内の不登校を少なくすることが可能ではないかと思われます。	K委員	御意見として承ります。	学校教育課の事業として、在宅学習支援を行っていません。また、家庭と福祉をつなぐスタッフとして、スクールソーシャルワーカーの活用が功を奏していません。ご提案のように、より多くの機関のサポートが可能なら不登校への支援も手厚くなると思われます。今後、家庭と支援チームの連携について研究してまいります。	—		—	
44		今年度は「幸せます 防府市こども食堂ネットワーク協議会」と「フードバンク山口 防府ステーション」も開設致しました。こちらも上手く併せて、教育現場にてご活用いただければ幸いです。	K委員	御意見として承ります。	今後、教育現場で活用できるように検討します。	—		—	
45	学校教育課	項目が削除されているが、児童生徒の不読書の割合をなくしていくことが必須である。 小学校 10% 中学校 20% を目標値として設定してはどうか。	I委員	目標指標追加	目標を達成したために削除していましたが、読書活動の推進が基本施策に入っていることから、肯定回答の数値目標に変更して再度設定します。	68	平日、読書をする児童生徒の割合（全国学習・学力状況調査より） 小中90%	目標指標 No35	全国学力・学習状況調査「家や図書館で、月曜日から金曜日、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」という設問に「全くしない」と答えた児童生徒の割合

追加

追加

追加